

あらかめ

第121号

平成25年9月30日

青少年委員だより

青少年委員だからできること

青少年委員にしかできないこと

荒川区青少年委員連絡会ホームページ

<http://www.arakawa-seishonen.jp/>

荒川区青少年委員連絡会

荒川区教育委員会事務局

社会教育課

登録(25)0046号



平成25年4月29日(月・祝) 川の手荒川まつり

スローガンである「青少年委員だからできること、青少年委員にしかできないこと」のもと、今年度も日々研さんを重ね、子どもたちに体験の場をたくさん提供していきます。

青少年委員制度60周年を迎える、10月には記念式典、祝賀会も開催されます。これを大きな節目としてしつかり受け止め、委員、事務局一体となり、企画運営のさらなる充実に務めてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



荒川区青少年委員連絡会

会長 中條 勉

活動トピックス

川の手荒川まつり

調査研修部会部長 吉友 安世

4月29日（月・祝）、今年も天気に恵まれた「川の手荒川まつり」。会場は、あらかわ遊園のふれあいハウスの横で、「光の万華鏡作り」を行いました。

子どもたちは、紙コップの底に光が入つてくる穴を工夫して開けました。一人ひとり違った模様が見える、自分だけのオリジナルの「光の万華鏡」です。できあがった万華鏡をのぞいて、子どもたちは目をキラキラさせていました。今回多くの子どもたちと直接ふれあうことができ、楽しい1日となりました。



さくら教室「校外学習」

青年団体育成部会副部長 渡辺 勝子

5月26日（日）、さくら教室の「校外学習」に参加しました。今年は受講生の皆さんとバスで高尾山へ行きました。

道中のバスの中では、バスレクを行い、高尾山にまつわるクイズや天狗の話、知恵遊び、ゲーム、歌などで楽しく過ごしました。高尾山到着後、清滝駅から高尾山駅までケーブルカーに乗り、その後、班ごとに山頂を目指しました。自然とふれあい、森林浴を楽しみながら、みんなで助け合い、登ることができたことは、受講生の自信につながったことだと思います。



校庭利用実施委員会連絡会

校庭及び施設利用部会副部長 小林 れい子

6月11日（火）、防災センター研修室において、各小学校PTAの校庭利用実施委員会の代表者、校庭利用実施委員、副校長及び青年委員が集い、校庭利用実施委員会連絡会が行われました。各小学校の現状や問題点などの情報交換を行い、今後の活動に活かす話し合いが行われました。

また、校庭及び施設利用部会が行つている「みんなde遊び」について説明をしました。今後も、青年委員の活動として、校庭利用の活性化に力を注いでいきます。



宿泊研修

調査研修部会部長 吉友 安世



6月1日(土)～2日(日)、清里高原ロッジ・少年自然の家で、宿泊研修が行われました。

今回の研修は、「観察力」や「団結力」などを養うこととして「バスレク」、「追跡ハイキング」を行いました。

「追跡ハイキング」はグルーピングに分かれて美し森をスタートし、コマ図を見ながらゴールの清泉寮を目指しました。森林コースの途中にはいろいろな隠し問題が用意されており、グループで協力しながら課題をクリアしました。

ゴール後、キャンプファイヤーで使うトーチ棒の作り方と薪の組み方の研修をしました。キャンプファイヤーでは、グルーピングに分かれてスタンツ(出し物)をそれぞれ披露。短い時間の中で話し合いで、踊り、歌などを見てまとめることができました。

梅雨明けの暑い日でしたが、約150人の親子が広々とした校庭で水遊び・サッカー・木工作(竹笛作り)・泥だんご作り・シャボン玉などと創造性豊かに、思いっきり遊んでいました。また、七夕の日で、フラフープくぐりを行いました。これによって、お互いに信頼しあうことで問題解決ができる学びました。この2日間で学んだことを、今後の青少年委員活動に活かしていきたいと思います。



また、「信頼関係構築プログラム」の研修を行い、グループでさまざまなアイスブレークの方法を学びました。

グループ内で信頼関係ができたところで、フラフープくぐりを行いました。これによって、お互いに信頼しあうことで問題

解決ができる学びました。この2日間で学んだことを、今後の青少年委員活動に活かしていきたいと思います。

この事業は小学校の校庭を活用した多種多様の遊びの促進と地域との連携を深めながら、子どもたちの居場所を作ることを目的としています。

この事業は小学校の校庭を活用した多種多様の遊びの促進と地域との連携を深めながら、子どもたちの居場所を作ることを目的としています。



本来のプレーパークの趣旨から見れば、多少の制約があると思いまですが、子どもたちは、自由な発想で遊び大人たちはそれを見守りサポートするという安全安心な「校庭利用」の促進につながればと願っています。

「みんなde遊ぼう!」青少年委員がプロデュース♪出張校庭プレーパーク♪

校庭及び施設利用部会部長 松尾 美智代

7月7日(日)、赤土小学校にて尾久地区の児童と校庭利用に携わるPTAを対象に「『みんなde遊ぼう!』青少年委員がプロデュース♪出張校庭プレーパーク♪」を開催しました。



東京都青少年委員会連合会定期総会

青少年委員連絡会 副会長 長野 一弘



6月15日（土）、東京都青少年委員会連合会定期総会が上野の東京都美術館講堂にて開催され、会長をはじめ委員7名が出席しました。

会場では、城北ブロックの他区の青少年委員の方々とも久しぶりに会うことができました。総会では、各議案について審議・決議を行いました。

総会終了後の講演は、音楽家である青島広志氏による「音楽好きな子どもに育てるため」に・・・と題した、とても楽しい、そして興味深い講演があり、有意義な時間を過ごしました。

チャレンジ共和国

少年団体育成部会副部長 山戸 美由紀



5月12日（日）・19日（日）は生涯学習センターで、6月16日（日）は尾久小学校で、4回にわたり、チャレンジ共和国が開催されました。

青少年委員は各班の

班付を担当しました。

今年は松延康先生の

「リングシユータ」作りから始まり、ゲームを作りながら始まり、ゲームをしたり、ピザ風イタリアン鍋を作ったり、巨大シャボン玉を作つて飛ばしたりしました。

た。毎回、子どもたちの楽しそうな姿が見られて、うれしく思いました。



チャレンジキャンプ

少年団体育成部会部長 大根田 教順

8月9日（金）から2泊3日で静岡市立浜石野外センターにて荒川区少年団体指導者連絡会主催の「チャレンジキャンプ」が行われました。

1日目は、夕食時に「お祭り広場」を行いました。各班が趣向を凝らした料理をみんなで味わいました。2日目は、浜石岳のハイキングで急斜面を登り、夜には、キャンプ

ファイヤーを行い、各班ごとにスタンツを披露しました。



子どもたちにとって、都会では味わえない経験が盛りだくさんの3日間でした。

編集後記

今年度は、青少年委員制度60周年です。今期も残すところ半年あまり、更に研さんを重ね、残り半年、青少年委員の活動にまい進したいと思います。